

令和4年度 第4回 静岡市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 日 時 令和5年1月19日（木）10時00分から12時00分まで
- 2 場 所 静岡市役所 静岡庁舎本館3階 議会特別会議室
- 3 出席者 【委員】（敬称略）
木宮 敬信、川上 健治、祝原 豊、内川 麻衣子、米澤 恵里子、
中地 良成、山瀬 直子、早川 雅美、肝付 兼太
【事務局】
（スポーツ振興課）
谷川参与兼スポーツ振興課長、木村課長補佐兼企画係長、榊原推進係
長、野崎施設第1係長、田村施設第2係長、宮川主査、太田主任主事
（スポーツ交流課）
笹本主任主事
- 4 欠席者 遠藤 知里、森福 研一、片桐 晶子、小長谷 忍、大島 友佳里、
今泉 幸広
- 5 傍聴者 2名
- 6 議 事 （1）パブリックコメントの結果について
（2）第2期静岡市スポーツ推進計画の最終案について
（3）答申書の案について

7 会議概要

司会（宮川主査）

<開会>

谷川参与兼スポーツ振興課長

<挨拶>

司会（宮川主査）

- ・会議成立（委員半数以上の出席により会議成立）
- ・会議の公開
事前の傍聴希望者：2名 傍聴を認める。＜異議なし＞
当日の会議録は、市のホームページに掲載、情報公開する。＜異議なし＞
- ・会議録署名人の選出 米澤委員＜承諾・異議なし＞
- ・配布資料の確認

議事（１）パブリックコメントの結果について【資料１－１、１－２】

太田主任主事

資料１の説明

＜委員からの質問・意見＞

なし

議事（２）第２期静岡市スポーツ推進計画の最終案について【資料２－１、２－２】

太田主任主事

・資料２の説明

＜委員からの意見・質問＞

米澤委員

静岡型スポーツ・イン・ライフのロゴマークはどのような形で活用を考えているのか

谷川参与兼スポーツ振興課長

スポーツ庁の「Sport in Lifeプロジェクト」と重なる事業については、２つのロゴを並列して掲出し、「みる」「ささえる」に関わるものは静岡独自として静岡型のロゴのみを掲出するような形となる。将来的にはプロスポーツチーム等のユニフォームに活用される可能性もある。

木宮会長

このロゴがシンボリックに使われるようになれば、静岡型スポーツ・イン・ライフの認知度も上がるだろう。

中地委員

パブリックコメントの結果にもあるが、「スポーツ・イン・ライフ」を知らない人もいたので、静岡型スポーツ・イン・ライフの説明をしっかりと伝える必要がある。

祝原委員

取組事業一覧について、（インターネット等で公表する際）掲載されている事業のリンクを貼るなど、情報を探しやすいような工夫や手段はないのか。

木村課長補佐兼企画係長

現時点では、事業一覧はPDF化したデータをＨＰへ掲載する予定であるため技術的に難しいが、祝原委員の意見は参考にしたいため、今後の掲載方法等を検討したい。

祝原委員

1つ1つにリンクを貼るのは難しいと思うので、検索して探し出せるようなキーワードを掲載してみてはどうか。

木村課長補佐兼企画係長

そのご意見を参考にしたい。

肝付委員

「再掲」は、どのような意味で表現しているのか。パブリックコメントの中には「目新しい事業がない」との意見があったため、新規の事業があるのならわかりやすく表現できないか。

木村課長補佐兼企画係長

「再掲」は、1つの事業で複数の施策に関連するものを再掲と表現している。前計画から引き続いて掲載している、という意味ではない。

木宮会長

重複している、という意味か。

木村課長補佐兼企画係長

そのような意味であるが、誤解を招く恐れがあるため表現を再検討したい。

谷川参与兼スポーツ振興課長

「目新しい事業」については、新規に搭載した事業がわかりやすいような表現を工夫したい。

中地委員

取組事業一覧の目標は、計画期間である8年間の目標なのか。

木村課長補佐兼企画係長

基本は8年間の目標だが、実績値は毎年確認を行い、当審議会でも報告する。8年間に新規に追加や終了する事業が出てくると思われるが、その都度リニューアルしていくイメージ。

木宮会長

実績報告は、この取組事業一覧をベースにすると一般の人にもわかりやすいと思う。

木村課長補佐兼企画係長

今までは本編冊子に事業一覧を組み込んでいたが、今回は別冊にすることで見直しをし易くしてある。進捗状況や経過の記載についても、検討していきたい。

木宮会長

表紙はどのようなものになるのか。

太田主任主事

これから印刷業者と検討していくが、基本は現計画のように写真をメインとしたものを想定している。もし、各委員から意見や希望があれば取り入れたい。

木宮会長

ロゴマークを作成するのであれば、表紙にもロゴマークを使用の方がよいのではないか。「静岡型スポーツ・イン・ライフ」は第2期計画の特徴であるため、ぱっと見で伝わるよう検討してみては。

議事（3）答申書の案について 【資料3】

太田主任主事

資料3の説明

＜委員からの意見・質問＞

米澤委員

2030年までに16歳以上のスポーツ実施率70%という目標は、スポーツ推進委員の立場として考えると、目標が高く、プレッシャーに感じてしまう。

谷川参与兼スポーツ振興課長

スポーツ庁ではスポーツ実施率の目標を70%にしているため合わせたかたち。日常の中で意識的に体を動かすこともスポーツだという意識改革を推奨していくことで、スポーツに対するハードルを下げていきたい。

木宮会長

冒頭の文章が、計画冊子の挨拶文と重複する部分がある

木村課長補佐兼企画係長

冒頭部分は表現や内容を改め、修正する。

木村課長補佐兼企画係長

教育委員会に提出するのは3月のため、審議会終了以降も気になる点や意見があれば、それらも反映させていくため、随時意見を受け付ける。

木村課長補佐兼企画係長

現在の案は、詳細部分に修正が必要な部分も見受けられるが、大筋の内容として異論がなければこの方向性で承認していただきたい。

木宮会長

答申書について、これでよいだろうか。

(委員の意義なし)

木宮会長

提出までには日数があるため、この後に意見があれば事務局がメール等で受け付けるような形でお願いしたい。

木宮会長

本日の議事は全て終了したが、全体を通して質問や意見等はあるか。

早川委員

スポーツ施設等に配架されているスポーツ推進計画はあまり読まれていないような気がして残念に思っている。もっと読んでもらえるよう、何か工夫をして欲しい。紙媒体の方が親しみを持てる世代もある。

木宮会長

冊子は何部刷る予定なのか。

太田主任主事

予算の都合もあり、今年度に印刷するのは300部となっている。必要に応じて、今後も追加で印刷をすることもある。

木村課長補佐兼企画係長

追加の配布は部数によって可能な場合もあるが、再生紙に印刷したものを配布することで対応するケースも想定される。

山瀬委員

審議会委員になるまでは、スポーツ推進計画の冊子がどこに配架されているのか知らず、見たことがなかった。300部という数は非常に少ない印象を受ける。取組事業はたくさんあるが、これを市民にどのように浸透させていくのかが大切だと感じる。

木宮会長

パブリックコメントの回答者は241人いるので、やはり300部という数は少なく思える。予算の兼ね合いもあると思うが、余裕があれば増やした方がよいと思う。

川上副会長

市の計画だけでなく県のスポーツ推進計画にも「共生社会の実現」が記載されているが、これからのスポーツ振興は障がい者や高齢者の注目度も高くするとともに、気軽に楽しめるスポーツの推進の必要性を感じた。

木宮会長

計画終期の8年後には、更に需要が高まっている可能性もある。取組事業についても、随時新たに考えていく必要が出てくるだろう。

木宮会長

以上ですべての議事が終了したので、議長の職を降り、事務局に進行をお願いする。

司会（宮川主査）

最後に事務局から事務連絡になります。

事務連絡

太田主任主事

- ・令和5年度の審議会については、第1回目を令和5年6月ごろに開催予定。